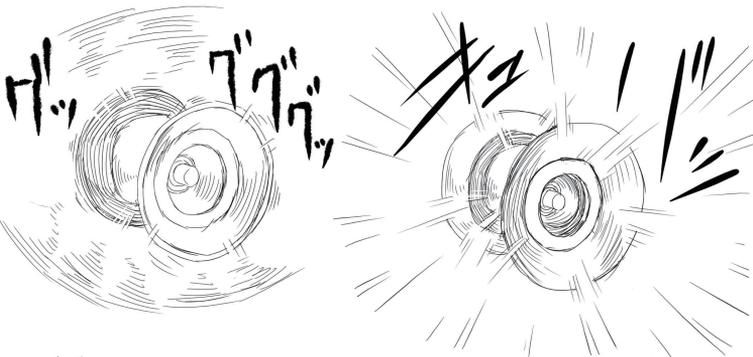


※描画例

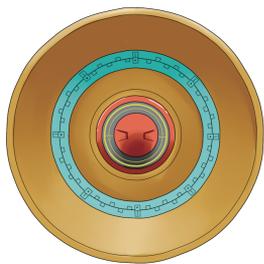
回転の効果に加えて広がる様子。



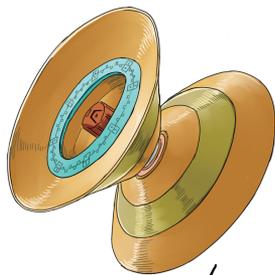
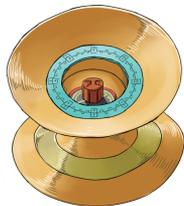
ミリ秒以下の出来事なので人間の目にはこのようにしか見えぬ。

※ろくろで器を作るときの土の動きをイメージしてとらえると分かりやすいと思います。

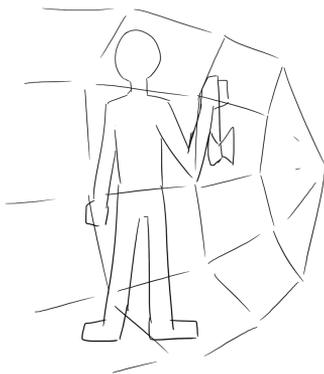




カラ-外觀



masaki



立ってもすっぽり

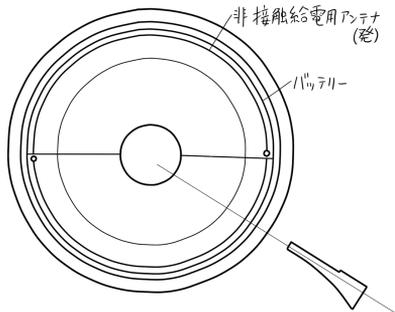
◆ Eフィールドジェネレーターシステムによる変形理論 -Energy field generator system-

サプライワッシャーからコイルへ給電することで、EMPキャップは直流モーターの要領でヨーヨー本体の回転方向とは逆方向に回転を始める。またサプライワッシャーはEMSリングへの非接触給電も行い、EMSリング外周側半分のN極/S極が入れ替わる。EMSリング内周側半分は遠心スイッチにより、フリー回転が可能になる。フリー回転状態になったEMSリング内周側半分の、リニアモーターの要領でヨーヨー本体の回転方向と同方向に、本体よりも高速で回転させる。つまりEMPキャップとEMSリングは互いに逆方向に回転する。発生させた磁界を、相対的により高速で“切る”ためである。この時発生した磁界の影響を受け、強磁性形状記憶合金製のボディーがブレード形状へと瞬時に変形する。CNTストリングの繊維が磁界の影響で振動し、ストリング自体が殺傷力を得る。

またEMPキャップとEMSリングが高速で磁界を“切る”ことで、自転車のダイナモライトの要領で電界を発生させ、電気的エネルギーを得る。これらの電気的エネルギーをブレードの先端に集中させると、電子振動により敵を分子レベルで斬り裂く「レーザーブレード」状態になる。

電気的エネルギーを拡散させると、敵の攻撃を防御する「エネルギーシールド」を展開できる。

これら一連の動作を総称して「Eフィールドジェネレーターシステム」としている。

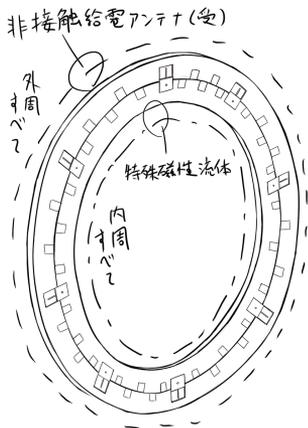
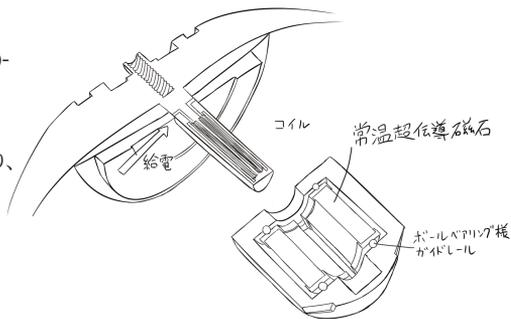


◆ サプライワッシャー -Supply washer-

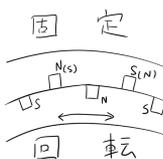
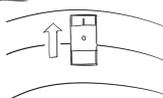
E フィールドジェネレーターシステムを作動させるバッテリー。特殊な技術を用いた電極により、プラスとマイナスを考えずに装着可能。ボス内のコイルと、後述のEMSリングへ給電を行う装置。

◆ EMPキャップ -Electro Magnetic field Preparing cap-

常温超伝導技術を用い、従来考えられなかった強度の磁界を発生させることができる。サプライワッシャー内に設置された角速度センサにより、検出したヨーヨー本体の回転方向と逆方向へ、磁石が回転する。



遠心力でロックが外れる



◆ EMSリング -Electro Magnetic field Stirring ring-

リニアモーターの要領で、検出したヨーヨー本体の回転方向と同方向へ、より高速に回転させる。内周部には特殊加工された磁性流体が封入されており、これが磁界を“切る”ことで電界を発生させる。外周部には非接触給電用のアンテナが設置されており、サプライワッシャーが発したマイクロ波を受信する。

◆ CNTストリング -Carbon Nano Tube string-

カーボンナノチューブを混入した特殊素材で作られたストリング。スピネルチェ効果により、磁界から熱を得る。熱でストリングの繊維が膨張し、空気に晒して冷却することで収縮する。膨張と収縮の繰り返しで微細な振動を発生させ、殺傷力を持つ振動切断糸になる。

